

クラーク・ゲイブル

Clark Gable

生年月日 1901/02/01

出身地 アメリカ／オハイオ州

没年 1960/11/16

関連人物 キャロル・ロンバード（元妻）
ジョン・クラーク・ゲイブル（息子）

【バイオグラフィ】

■本名はWilliam Clark Gable。父親は石油の採掘工。両親は共にドイツ移民の子孫で、母は生後早くして死亡。10代半ばで家出したが、義母の死をきっかけに帰郷。しかし21歳の時、再び家出をして旅興行の一団と共に放浪。オレゴン州ポートランドに落ち着きデパートなどで働き、町の劇団に参加する。そこで知り合った女優のジョセフィーンと共にハリウッドへ渡り結婚。エキストラのような役で映画に出演するがパッとせず、舞台を中心に活動が続ける。やがて舞台での姿がMGM幹部の目に留まり、31年「惨劇の砂漠」に出演。同年ジョセフィーンと離婚し、17歳年上のリサと再婚する。その後も地道に活動続け、34年フランク・キャプラ監督「或る夜の出来事」によりアカデミー主演男優賞を受賞。大スターとして飛躍し、その後出演作品は軒並みヒットを重ねドル箱スターとなる。そして「風と共に去りぬ」の原作者マーガレット・ミッチェルが彼をイメージして作ったレット・バトラー役によって“キング・オブ・ハリウッド”と呼ばれるようになる。その後、三度目の結婚相手キャロル・ロンバードが飛行機事故で死亡するなどの悲劇も訪れたが（この二人の恋物語は73年、「面影」として映画化されるほど有名な話）、60年、心臓マヒによりこの世を去るまで数多くの作品を残しハリウッドの伝説となった。結婚は計5回であったが、彼の子は5度目のケイとの間に彼の死後4ヶ月後に生れたジョン・クラーク・ゲイブル只一人。

【フィルモグラフィ】

風と共に去りぬ／幻のメイキング（1988）	出演
荒馬と女（1961）	出演
ナポリ湾（1960）	出演：マイケル・ハミルトン
僕は御免だ（1959）	出演
先生のお気に入り（1958）	出演
深く静かに潜航せよ（1958）	出演：リチャードソン
南部の反逆者（1957）	出演
ジェイムス・ディーン物語（1957）	出演
ながれ者（1956）	出演
たくましき男たち（1955）	出演
一攫千金を夢見る男（1955）	出演
叛逆者（1954）	出演
モガンボ（1953）	出演：ビクター
哀愁のロシア（1953）	出演
栄光の星の下に（1952）	出演
ミズーリ横断（1951）	出演
スピード王（1950）	出演
戦略爆撃指令（1948）	出演

帰郷 (1947)	出演
自信売ります (1947)	出演
冒険 (1946)	出演
無法街 (1941)	出演
ブーム・タウン (1940)	出演
同志X (1940)	出演
風と共に去りぬ (1939)	出演 :レット・バトラー
地球を駆ける男 (1938)	出演
テスト・パイロット (1938)	出演
サラトガ (1937)	出演
空駆ける恋 (1936)	出演
スタアと選手 (1936)	出演
桑港 (サンフランシスコ) (1936)	出演
妻と女秘書 (1936)	出演
支那海 (1935)	出演
結婚十分前 (1935)	出演
戦艦バウンティ号の叛乱 (1935)	出演
野性の叫び (1935)	出演
或る夜の特ダネ (1935)	出演
私のダイナ (1934)	出演
男の世界 (1934)	出演
白衣の騎士 (1934)	出演
或る夜の出来事 (1934)	出演
ダンシング・レディ (1933)	出演
春の火遊び (1933)	出演
夜間飛行 (1933)	出演
ホワイト・シスター (1933)	出演
紅塵 (1932)	出演
心の青空 (1932)	出演
太平洋爆撃隊 (1932)	出演
自由の魂 (1931)	出演
無冠の帝王 (1931)	出演
スザン・レノックス (1931)	出演
秘密の6 (1931)	出演
暗黒街に踊る (1931)	出演
夜の看護婦 (1931)	出演
惨劇の砂漠 (1931)	出演